

粟島汽船株式会社所属船「フェリーニューあわしま」

▲▽ 4年ぶりに防火・退船操練を実施！ ▽▲ 新潟支部

残暑続く9月21日、北陸信越運輸局の船員労働安全衛生月間行事として、新潟県岩船港において粟島汽船株式会社所属船「フェリーニューあわしま」で防火・退船操練が実施された

操練は、航海中に搭載した車両から出火し、消火活動に当たったが他の車両へ延焼、スプリンクラーによる消火活動でも消火不能と判断し、総員退船する想定で実施された。

岩船港の港内には海上保安庁巡視艇、岸壁には消防車・救急車が配置され、本船からの非常サイレンが鳴り響く緊張感の中、本船乗組員のほか関係者は真剣な表情で取り組んだ。

富樫春夫船長は「新型コロナウイルス感染症の影響から粟島汽船で4年ぶりの防火・退船操練であったが、日ごろからの安全に対する意識が重要であり、旅客と乗組員の命をあずかる旅客船事業者として、また粟島浦村島民の生活と本土への唯一の交通手段を担う離島航路事業者として、引き続き、安全を第一に使命を果たしたい」とした。

最後に、主催者を代表し北陸信越運輸局・生駒豊海事部長から、訓練は円滑に行われ有意義なものであった、と評価した上で「万が一の事態に備えて訓練の成果を生かし、平時から安全意識の向上に努めていただきたい」とあいさつがあり、終了した。

「海員だより」